

## R5 学校教育自己診断アンケート 集約結果及び次年度に向けて

## ●実施時期・実施方法について

実施時期は定年通り(11月末配付 締め切りは約3週間後)。質問項目の変更なし。

生徒用は例年と変更なく紙媒体実施だが、保護者用・教員用を、Google Forms を利用して行なった。

⇒特に保護者実施分で、ログインできない不具合が発生。原因不明。(他校でも同事例ありとのこと)

アンケートを停止し、あらためて紙媒体(これまで通り)で実施。

教職員実施分は、仕様上、回答者のアドレスが不明なため、再三、依頼はしたものの回収率(提出)が大幅に低下。

**生徒用** 回答数:111 回収率56% (R4回収率68%)

——肯定的回答が増えた項目——

Q1 4.3pt↗ 「学校が楽しい」 Q5 4.1pt↗ 「人を大切にする」

——否定的回答が増えた項目——

Q6 6.7pt↘ 「社会のルール」 Q9 6.9pt↘ 「進路学習」 Q10 4.3pt↘ 「主権者教育」

【集計結果より】

ほぼすべての質問で「わからない」、「未記入」を除くと、肯定的回答が8割を超える。「いいえ」は数件のみ。今後はすべての質問項目において、生徒にとって日常の学習活動とのつながりがわかりやすくなるような工夫が必要である。運動習慣についても、ほぼコロナ禍前と同様実施できた。

★次年度の重点課題とされる項目★

進路学習・主権者教育については「わからない」「未記入」が昨年に引き続き多い(Q9、Q10ともに50%以上)、また数値的にも肯定的評価がさらに下がったので、多くの生徒にとってわかりやすく伝える工夫が必要となる。キャリアAPTを中心として、「きょうだい学年」の取り組みも始まったばかりなので、継続し、定着化させていく。

⇒各学部進路部・キャリアAPT

**保護者用** 回答数:122 回収率63% (R4回収率70%)

——肯定的回答が増えた項目——(5pt以上up)

Q12 12.1pt↗ 「情報機器の活用」 Q14 7.2pt↗ 「個々の健康支援」

Q17 6.1pt↗ 「保護者への相談対応」

——否定的回答が増えた項目——(5pt以上up)

Q9 5.6pt↘ 「参観機会の設定」 Q16 5.6pt↘ 「教育方針の明示」

——肯定的回答が低い項目——(肯定回答70pt以下)

Q21 「施設・設備」(58.1pt) Q24 「学校ホームページの活用」(56.6pt)

【集計結果より】

Q12:「情報機器の活用」で大幅に評価が上がった。教員もiPadの使い方にも習熟し、活用が広がっている。今後は、生徒用Googleアカウントの活用も含め、さらに情報機器の活用の推進を検討・実施し、「わからない」という回答をへらしていきたい。

Q9:各学部学年とも学期に1回の参観機会を設けているが、例年より多くの参観をとという声がある。学校設定以外の日程でも希望すれば参観可能といった情報を周知する必要がある。

Q16:HPや各行事を通して、随時、情報発信を行い、教育方針への理解を進めていく。⇒管理職

Q21:「学校の施設設備面」での評価は例年低いことはあるが、今年度もトイレの自動水洗化や洋式化が進み、体育館の空調設備も整った。引き続き、より生徒が使いやすいものになるよう、改修を進めていく。

★次年度の重点課題とされる項目★

Q12「情報機器の活用」依然「わからない」が多いので、積極的な情報発信。⇒情報部

Q19「大災害時の体制の周知」⇒防災委

Q24「ホームページ」の利活用の促進を検討 ⇒管理職・情報部

**教員用** 回答数:72 回答率77% (R4回収率98%)

——肯定的回答が増えたもの——(5pt以上 up)

- |                           |                                  |
|---------------------------|----------------------------------|
| Q8 8.1pt ↗ 「専門性の向上」       | Q13 7.6pt ↗ 「学校行事の工夫・改善」         |
| Q18 8.5pt ↗ 「仕事のやりがい」     | Q20 9.4pt ↗ 「職場の自由な雰囲気」          |
| Q25 12.9pt ↗ 「危機管理意識」     | Q26 5.4pt ↗ 「個人情報の管理」(肯定回答率100%) |
| Q27 7.6pt ↗ 「ホームページ等情報発信」 |                                  |

——否定的回答が増えたもの——(5pt以上 up)

- |                                   |
|-----------------------------------|
| Q16 8.7pt ↘ 「適正な人事配置、意欲的に取り組める環境」 |
| Q17 14.2pt ↘ 「積極的な経営参画」           |
| Q23 10.7pt ↘ 「施設設備の点検・管理」         |

——肯定的回答が低い項目——(肯定回答80pt以下)

- |                                   |
|-----------------------------------|
| Q10 「他の授業を参考にしている」(62.5pt)        |
| Q14 「准校長のリーダーシップ」(68.1pt)         |
| Q15 「教職員の意見の反映」(69.4pt)           |
| Q16 「適正な人事配置、意欲的に取り組める環境」(62.5pt) |
| Q17 「積極的な経営参画」(66.7pt)            |

#### 【集計結果より】

評価が上がった項目については、一定、学校としての取り組みが数値として出てきている部分ではある。授業力向上PTでの取り組みや、個人情報に係るヒヤリハット・インシデントの報告、周知体制を変更したこと、またHPの学校ブログの更新頻度を上げたこと、また、日ごろからの個人情報管理への職員への注意喚起など。また働き方改革について、定時退勤推奨の声掛けを日ごろから行っていることも「やりがい」等につながっているとも考えられる。反面、パッケージ研修を実施したが、Q10「他の授業を参考にしている」の肯定的回答は低い。学部・学年・経験年数に関わらず、相互に授業を参観できる環境設定等が必要。健全な同僚性を大切に、お互いを尊重しあい、意見を出し合えるよう、アサーティブコミュニケーションの醸成が必要となる。また、一人一人がやりがいをもって働けるよう、働き方改革と同時に環境も整えていく必要がある。

#### ★次年度の重点課題とされる項目★

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| Q10 「他の授業を参考にしている」 | ⇒ 支援・研究部、授業力向上PT、首席 |
| Q15・17 「積極的な経営参画」  | ⇒ 各学部、学年、分掌、管理職     |